

V 学外調査

V-1 他大学等への視察の実施

2010 年度及び 2011 年度に実施した男女共同参画アンケートでは学内保育園の設置について必要性を認める意見が多数見られたが、設置費用及び運営経費等の面から実現には困難が予想された。そこで、学内保育園について既設の大学の状況を確認したいと考えていたところ、2014 年度に大阪府立大学の男女共同参画担当者から文部科学省の女性研究者研究活動支援事業公募に関して協力依頼があったことから大阪府立大学と繋がりができ、その縁で学内に設置された保育園を見学できることとなった。

続いて 2015 年度には大阪市立大学の学内保育園及び大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）を視察できた。

学内保育園については、経費面及び各キャンパスの地理的問題もあり設置は難しいことを再認識したが、大阪府立大学及び大阪市立大学の両大学、またドーンセンターとも、今後「オールおおさか」として協力体制を進めていくことを確認した。

1) 大阪府立大学訪問について

2015 年 3 月 13 日（金）に中西理事，永井学長補佐，千原係長の 3 名で大阪府立大学（中百舌鳥キャンパス）を訪問し，大学内にある「つばさ保育園」を見学した。

「つばさ保育園」は，女性研究者支援センター，保健管理センターに隣接しており，大阪府立大学の象徴であるとの話であった。施設見学後に大阪府立大学担当者より保育園設置当時の苦労話や運営経費について話を伺い，学内保育園の設置及び運営の厳しさを痛感した。

2) 大阪市立大学訪問について

2015 年 6 月 15 日（月）に中西理事，永井学長補佐，九鬼係長，千原係長の 4 名で大阪市立大学（杉本キャンパス）を訪問し，大学内にある「杉の子保育園」を見学した。

「杉の子保育園」は大阪府立大学の「つばさ保育園」と同様に大学の中心部に設置されている。大学内に保育園が設置されていることにより安心して子どもを預け教育研究を行うことができるため，大阪市立大学に就職した等の利用者の声があるとのことであった。施設見学後に大阪市立大学担当者より保育園運営等について話を伺い，今後は大阪市立大学と女性研究者支援等についても協力を検討していくこととなった。

3) 大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）訪問について

2015 年 12 月 2 日（水）に中西理事，永井学長補佐，安達准教授，南山課長代理，九鬼係長，千原係長，津守主任の 7 名でドーンセンターを訪問した。ドーン財団及び大阪府男女参画・府民協働課の担当者からのセンター紹介に続いて，施設見学を行った。近年特に深刻になりつつある問題（貧困，介護，デート DV 等）や運営経費確保のための取組方策等について話を伺った。

①大阪府立大学（中百舌鳥キャンパス）つばさ保育園



つばさ保育園入口



保育室

②大阪市立大学（杉本キャンパス）杉の子保育園



大阪市立大学担当者による説明



遊戯室

③大阪府男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）



ドーンセンター外観



図書館司書による説明